

垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイ沖縄配備に反対する意見書

2010年9月9日、米国国防総省のモレル報道官は、垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイを日本の米軍基地で運用する旨を日本政府に伝達していると語り、また、参議院外交防衛委員会にて、岡田克也外務大臣（当時）は、MV-22オスプレイの沖縄配備に基づく飛行経路を沖縄県民に説明すべきだと述べ、MV-22オスプレイの在沖縄海兵隊基地への配備が現実味を帯びてきた。

MV-22オスプレイは、研究開発段階において、数々の墜落死亡事故等のトラブルを引き起こし、欠陥機だとされている機種であり、同機の沖縄への配備は、金武町民に沖縄国際大学で起きた米軍ヘリ墜落事故の恐怖心を抱かせるのに十分過ぎるものがある。

数多くのヘリパッドが存在するキャンプ・ハンセンには、昼夜を問わず海兵隊ヘリの離発着訓練が行われ、町民は、ヘリ訓練による騒音被害にほぼ日常的に悩まされている。MV-22オスプレイが沖縄へ配備されれば、金武町民間地上空を飛行するのは明確であり、それによって生ずる騒音被害、墜落事故への恐怖は計り知れないものがある。また、この事態は、日米間で合意された沖縄の基地負担軽減にも明らかに反することである。

よって、金武町議会は、町民の生命と財産を守る立場から、MV-22オスプレイの沖縄配備に断固反対し、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年10月1日
沖縄県金武町議会

宛 先

内閣総理大臣

外務大臣

防衛大臣

沖縄・北方対策担当大臣

垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイ沖縄配備に反対する要請決議

2010年9月9日、米国国防総省のモレル報道官は、垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイを日本の米軍基地で運用する旨を日本政府に伝達していると語り、また、参議院外交防衛委員会にて、岡田克也外務大臣（当時）は、MV-22オスプレイの沖縄配備に基づく飛行経路を沖縄県民に説明すべきだと述べ、MV-22オスプレイの在沖縄海兵隊基地への配備が現実味を帯びてきた。

MV-22オスプレイは、研究開発段階において、数々の墜落死亡事故等のトラブルを引き起こし、欠陥機だとされている機種であり、同機の沖縄への配備は、金武町民に沖縄国際大学で起きた米軍ヘリ墜落事故の恐怖心を抱かせるのに十分過ぎるものがある。

数多くのヘリパッドが存在するキャンプ・ハンセンには、昼夜を問わず海兵隊ヘリの離発着訓練が行われ、町民は、ヘリ訓練による騒音被害にほぼ日常的に悩まされている。MV-22オスプレイが沖縄へ配備されれば、金武町民間地上空を飛行するのは明確であり、それによって生ずる騒音被害、墜落事故への恐怖は計り知れないものがある。また、この事態は、日米間で合意された沖縄の基地負担軽減にも明らかに反することである。

よって、金武町議会は、町民の生命と財産を守る立場から、MV-22オスプレイの沖縄配備に断固反対し、関係機関へ働きかけて下さいますよう、強く要請します。

平成22年10月1日
沖縄県金武町議会

宛 先
沖縄県知事
沖縄県議会議長